

【新園舎見学会】

1月27日新園舎の見学会を行いました。大阪私立保育連盟生野ブロック（生野区・天王寺区）の関係者の皆様と天王寺区役所の方々にご出席いただき、園舎の内覧と保育の様子もご見学いただきました。身に余るほどのお言葉をたくさん頂戴し、あらためて気の引き締まる思いと感謝の気持ちを強く抱きました。

法人理事長からは、種の会についての説明と、民間移管にあたっての経緯や法人のビジョンとして、事業拡大といった経営目的ではなく、これまで様々な方々（地域、行政、養成校など）との出会いやご縁の中で、創始理念にある「関係性の再構築」という名目のもと民間移管への応募や新設園の開設に着手してきたというお話をさせていただきました。

ブロック会会長の荻田先生からもご祝辞をいただき、移管から建築にかけて労いと励ましのお言葉を頂戴致しました。

（ほんのささやかなおもてなしとしてお出ししたスターバックスのコーヒーも好評でした笑）

これを機に、今回ご出席いただいた園の先生方や関係者の方々はもちろん、お近くの方から遠方の方まで、これから様々な形で交流や連携や協力や学び合いの機会を持たせていただければと思っています。その中で、自園だけの充実や発展を求めるのではなく、同じ保育を営む施設様や関係者様との「関係性」を築きながら、共に保育の面白さや難しさ、そして保育という世界の魅力や価値を社会に向けて発信して行くことができればと考えております。

**【鳥（からす）についてのお話】**

園舎内の壁画アートに「カラス」が描かれているのですが「なぜカラスなの？」という問いに対して、これは新園舎の住所が「烏ヶ辻（からすがつじ）」という地名から「烏（カラス）」をアート（物語）の中に取り入れようと、おかだ先生との対話から盛り込んでもらうことになりました。

そしてアートの中には、真っ黒のカラスは一羽もおらず、様々な色のカラスが存在しています。これは「カラスと言えば真っ黒で不気味」「カラスと言えばゴミを荒らす」など、悪いイメージや嫌なイメージを抱きがちですが、それは「子ども」も含め「人」を見る上でも同様に、見た目やイメージだけでその人を評価したり決めつけたりしてはいけない、カラスにも一羽一羽違いがあり、私たち人間には見えないカラスにもきっと性格や特徴（いわゆる個性）や想いがあるはず、だから、どれもこれもみんな一律に真っ黒にせず、いろんな色のカラスが居ていいよね、ということで、色とりどりのカラスを描いていただきました。

人はみんな一人一人違いがあって、それぞれの個性（らしさ）を持っています。その個性を大切に、尊重し、その子（人）の行動の理由や意味を考えられる職員集団を目指していきたいと思っています。